

天皇杯・皇后杯ファイナルラウンドラウンド出場チームの新人戦・春季大会における  
取り扱いと新人戦・春季大会の大会運営について（申し合わせ）

高体連札幌支部バレーボール専門部  
札幌バレーボール協会競技部高校部会

高体連札幌支部に所属するチームが、北海道ブロック代表として天皇杯・皇后杯ファイナルラウンドに出場する場合、同年度の新人戦及び次年度の春季大会の運営を以下の手順に従って行うものとする。

1 天皇杯・皇后杯ファイナルラウンドに出場するチームについて

- (1) チームで新人戦出場の有無を判断する。
- (2) 新人戦に出場する場合は、シード順位を高体連札幌支部予選結果の順位とする。
- (3) 新人戦に出場できない場合は、そのチームは春季大会の第1シードとする。

2 ファイナルラウンド進出チームが、新人戦に出場しない場合の新人戦・春季大会の大会運営について

(1) 新人戦

- ①シード順位は、高体連札幌支部予選結果の順位より、「ファイナル進出チーム」を抜き、順次繰り上げる。（第8シードが空く。）
- ②第8シードについては、札幌地区高校大会「シードに関する申し合わせ」の4シードチームの補充により行う。
- ③大会結果の優勝（1位）から7位までを春季大会のシードチームとする。

(2) 春季大会

- ①シードチームは8チームとする。  
（札幌地区高校大会「シードに関する申し合わせ」の1）
- ②ファイナルラウンド進出チームを第1シードとする。
- ③第2シード以降については、新人戦の順位の1つ繰り下げた順位をシード順位とする。

付則 1 この申し合わせは、平成29年2月22日より施行する。